

広報大洲

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

2016

No.141

10

大洲



秋のおとずれとともに...

がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

平野中学校 1年 (現:平野中学校 2年)

三好 ^{あま}海 ^ね音 さん



平野中学校は、生徒みんな仲がよい素晴らしい学校です。同級生の女子は4人と少ないけれど、「いい思い出をたくさん作ろう」と、いつも話しています。1年生のとき、国立室戸青少年自然の家に行きました。女子4人が同じ部屋で、学校ではできない楽しい体験がたくさんできました。

部活はバレーボール部で、部員8人と毎日練習を頑張っています。1年生がたくさん入部してくれたので、経験の浅い後輩に早くバレーボールに慣れてほしいと思っています。

少し前に、祖母が膝を痛めて手術をしました。そのとき、少しでも祖母の役に立ちたくて、将来は医療関係の仕事に就きたいと思うようになりました。教えることも好きなので、教師にも憧れています。これからゆっくり考えて、人の役に立てる仕事に就きたいと思っています。

10月の納税など 納期限は10月31日(月)です。

税 別	10月	11月	12月	1月
市 県 民 税	3期		4期	
固 定 資 産 税		4期		5期
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	4期	5期	6期	7期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	44,984人 (-42)	件数 109件(116件)
男	21,477人 (-21)	死者 2人(2人)
女	23,507人 (-21)	負傷者 141人(155人)
世帯数	20,168世帯(-2)	

(2016年8月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	(特集1)熱き思い みんなに届け
8ページ～	(特集2)大洲の秋を味わう
10ページ～	シリーズ
12ページ～	おおずニュース
15ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと (NPO法人かわうそ復活プロジェクト)

今月の表紙



今年も開催された「いもたき初煮会」は、天気に恵まれ、いもたき会場の如法寺河原では、大洲の美味しいサトイモを味わう人々にぎわいました。

家族や職場の仲間と参加している人が多いなかで、ひときわ楽しそうなグループを見つけました。いもたきを味わいながら、ビールで乾杯です。

熱き思い みんなに届け



「えひめYOSAKOI祭り2016」が8月21日(日)、緑地公園特設会場など市内6会場で開催されました。

13回目を迎えた今年は、市内外から28チーム1070人が参加し、36度を超える猛暑のなか、さまざまな世代の踊り子たちが、熱気と笑顔あふれる踊りを披露しました。

メイン会場の一つであるアクトピア大洲前の競演場では、きらびやかな衣装を身にまとったチーム

熱気と笑顔が大洲のまちを彩る

が次々と登場しました。おなじみの鳴子のほか、旗や太鼓などを使い、それぞれのチームが趣向を凝らした振り付けを披露し、オリジナル曲や生歌で会場を盛り上げるなど、集まった観客を楽しませていました。

なかでも、観客から出番を心待ちにする声が一番多く聞かれたのは、地元大洲のよさこい連「羅り瑠れ櫓連」でした。

(※連とは仲間、連れ合いの意味で、よさこいチームで多く使われる)

えひめ^{よさこい}YOSAKOI祭り
振興会実行委員長

木戸岡 ^{さとる} 悟 さん

「大洲に住む人が
誇れる祭りでありたい」



私は今年から実行委員長を務めています。たくさんの方に声を掛けていただき、この祭りが大洲に浸透していることを実感しています。また、小学生の時に踊り、成人後に大洲に帰って再び参加してくれた子を見ると、感慨深いものがあり、祭りが人を育ててくれている気がします。

地域の人から「いい祭りだったね」と言葉をいただくことが、やりがいにつながっています。しかし、単純に「よかった」で終わるのではなく、地元の経済を活性化させるきっかけとなり、みなさんが自信を持って周りに発信できる祭りでありたいと思っています。

羅^らり 瑠^るれ 櫓^ろ連

本番直前 くえひめYOSAKOI祭りの顔く

平成17年の第2回から参加している大洲市のよさこいチーム「羅り瑠れ櫓連」。毎年メンバーの入れ替えがありながらも、歴代トップとなる過去5度の大賞に輝き、今や「くえひめYOSAKOI祭り」の代表格となっています。

毎年テーマが設定され、規律ある動きと笑顔あふれる演舞は、地元住民をはじめ多くの観客を魅了しています。

本番を一週間後に控えた8月14日(日)、大洲南中学校の体育館では、「はい」という活気のある声が響き、仕上げの練習が行われていました。



性別や世代を越えて、心と動きをそろえる



メインテーマを「羅り瑠れロマン」とし、大正ロマンをイメージして踊りが展開される今年の「羅り瑠れ櫓連」は、小学5年生から50代までの踊り子16人と、「煽^{あお}り」と呼ばれるMC担当と歌い手の計18人で構成されています。メンバーの多くは中高生で、活気あふれる連となっています。

曲が流れ始めると、それまでの和気あいあいとした様子から一変。張り詰めた空気を感じていると間もなく、踊り子のはじけるような笑顔が目に入ってきました。練習とはいえ、祭りの上位常連チームならではの、めりはりのある雰囲気づくりはさすがです。

この日は踊りの細かい部分の最終チェック。指摘があった部分は全員で共有し、全員で考えてアイデアを提案していました。シーズンを通したこの作業の積み重ねが、連の一体感を生んでいます。



羅り溜れ櫓連

代表 中村 ^{まゆみ} 真弓 さん

「同じ時間を共有する仲間たちと」

私自身、よさこいを踊ってみたいという思いがあり、「えひめYOSAKOI祭り」の立ち上げに関わった翌年、「羅り溜れ櫓連」を結成しました。

毎年8月に祭りが終わった後、10月ごろから来年のテーマや曲、衣装を連長、副連長らと共に決めていきます。4月から週2回の練習をスタートし、他市町の祭りに遠征することもあります。

昨年は4年ぶりに大賞をいただきました。平成24年に事情で祭りが中止になった時の曲をあらためて披露し、大賞を受賞した時はいろいろな思いが込み上げてきました。



中村さん自身も精力的に踊る

私が連の最年長でもあるのですが、大人から子どもまでが一つの目標に向かって時間を過ごすことに、最大の魅力を感じています。

これからも、みなさんに喜んでいただける演舞を披露し続けたいと思っています。



羅り溜れ櫓連

副連長 桑野 ^{しほ} 志保 さん(写真左) 入山 ^{あかね} 茜 さん(写真右)

「一人がみんなのために」

高校生のころに、二人ほぼ同時期に連に入って以来、今年で9年目になります。高校を卒業してからも、祭りの時期は練習に通いました。

よさこいは、一般的なダンスのように個人が目立つのではなく、全員が同じ動きをする「統一美」が求められます。踊り子一人ひとりのことをよく知り、一人がみんなのために同じところを目指していくことが、一番の面白さだと思います。

今年も、大洲を盛り上げる連の一つとして、結果にこだわることなく、楽しみにしていただいている地元のみなさんに向けて精一杯踊りたいです。



羅り溜れ櫓連

喜多小学校5年 近藤 ^{まい} 真衣 さん

「みんなが笑顔になる踊りをしたい」

以前兄が連に入っていて、自分も踊ってみたいと思うようになりました。私は幼稚園のころからヒップホップダンスを習っていて、よさこいは全然違うジャンルですが、どちらも楽しいです。観客のみなさんに笑顔になってもらえるように踊りたいです。



咲いた の華



最終演舞では、多くの声援が会場に響いた



演舞が終わり、感極まるメンバーら

「得られるものは大きい」

私が2008年に連に入ってからしばらくは、上位入賞を目指して練習に励んでいました。若い世代が中心となり、メンバーが年ごとに大きく変わるようになってからは、結果よりも、連の絆を深めることを第一に考えるようになりました。

とはいえ、長い時間かけてみんなで練習してきて、若いメンバーに賞を取らせてあげたかったのも本音なので、今回銅賞をいただいて少し安心しました。

私自身、えひめYOSAKOI祭りを通して、人とのつながりをはじめ、本当に多くのことを学びました。今年参加した小中高生のメンバーには、祭りを通して社会で生かせることを、少しでも吸収してほしいと思っています。



えひめYOSAKOI祭り
2016 カテゴリー1
銅賞
羅り瑠れ檜連
連長
岩城 れい麗さん



大洲に踊り

えひめYOSAKOI祭り2016受賞一覧

カテゴリー 1	チーム名
大賞	はまこだん だん だん 浜っ鼓★弾★DAN (新居浜市)
準大賞	さぬき舞人 (香川県)
銅賞	羅り溜れ槽連 (大洲市)
カテゴリー 2	チーム名
金賞	ちやうせい ホップ☆スター~ (内子町)
高知よさこい祭り 振興会会長賞	
銀賞	みかめよさこい【響】 (西予市)
銅賞	しづふうじんらい 疾風迅雷 (大洲市)
カテゴリー 3	チーム名
金賞	喜多っパワーズ2016喜鷹組 (大洲市)
銀賞	熱血!!北中YOSAKOI部 (大洲市)
銅賞	グレイテスト★エナジー (西条市)
大洲市長賞	喜多っパワーズ2016喜龍組 (大洲市)
大洲市観光協会会長賞	きらり☆平組! (大洲市)
大洲商工会議所会頭賞	元気いっぱい華咲け南中 (大洲市)
大洲商店会連合会会長賞	喜多っパワーズ2016喜猿組 (大洲市)
大洲市教育委員会教育長賞	ジョイフルダンス (大洲市)

—今度YOSAKOIあるけん、大洲においてや—

踊り子一人ひとりが、それぞれの思いを精一杯の笑顔と踊りで表現するえひめYOSAKOI祭り。演舞前の各チームのあいさつでは、「大洲のみなさんに笑顔になってもらうために」「まちに元気を」という言葉が多く聞かれました。演舞の後には観客から拍手が惜しみなく送られ、「ありがとう」の声もありました。

参加するのは踊り子たちだけではありません。見る側も、目の前で踊りの臨場感を味わい、個性あふれる衣装や髪型などに注目するのも、祭りに参加して楽しむ方法の一つではないでしょうか。

多くの人交流し、地域の絆が深まり、まちが活性化していくことがこの祭りの理想ともいえます。みなさんも、それぞれの形で「参加」し、祭りを通じて大洲を発信しましょう。

大洲の秋を味わう

歴史と伝統

大洲のいもたきは、藩政時代より受け継がれてきた伝統の味であり、秋の風物詩の一つです。現在は県内で広く楽しまれています。元祖は大洲であると伝えられています。

いもたきの起源は諸説ありますが、農民が収穫したサトイモを川河原に持ち寄り、イモを炊いて親睦を深め、豊作を祝ったという秋の行事「お籠もり」から始まったとされるのが一般的です。

大洲のサトイモが絶品な理由

大洲のいもたきは、サトイモ、油揚げ、鶏肉、コンニャク、シイタケや白玉など、シンプルな材料が基本とされています。鶏がらなどでとった甘みのあるだしが特徴で、なかでも主役のサトイモは大洲ならではの味です。

大洲は、過去の自然災害で何度

も氾濫し、そのたびに大量の川砂が流出しました。その川砂が堆積した水はけの良い砂地がサトイモ生産に適し、独特のぬめりを生み出したのです。煮込んでも形崩れせず、とろけるような食感と強い甘みは絶品です。



食感と甘味が特徴の大洲産サトイモ

誇れる郷土食

8月下旬のシーズン初日に盛大に開催される「初煮会」、9月中旬の「観月会」といったイベントが開催され、10月中旬まで多くの

川風を感じて「初煮会」

大洲のいもたきシーズン開幕となる秋の風物詩「いもたき初煮会」が8月26日(金)、如法寺河原で開催されました。

約800人が鍋を囲んだこの日は、恒例となった約1,000食分のいもたき無料配布もあり、多くの方が列を作っていました。ステージイベントには臥龍太鼓やダンスの披露、よさこい演舞などが行われ、会場は大いに盛り上がっていました。



人が河川敷からの風景といもたきを楽しんでいます。家庭で作られることも多く、長い歴史のなかで、ふるさとの味としてすっかり根付いています。

最近では、修学旅行で大洲をおとずれた学生に昼食として提供されたり、昨年度創設された「愛媛サイクリングの日」には、サイクリストにいもたきが振る舞われたりするなど、大洲の郷土食として観光面でもPRされています。

そのほか、いもたきをアレンジしたご当地グルメ「大洲コロッケ」などの加工品や、「大洲ええモンセクション」の「さといもカレー」「いもたきセット」も人気となっています。



いもたきの新しいアレンジ「大洲コロッケ」

また、大洲のいもたきは山形県中山町の芋棒煮、島根県津和野町

の芋煮とともに「日本三大芋煮」といわれています。

昨年は両町を招き、「日本三大いもたきサミットinおおず」が開催されました。各地の芋煮が食べ比べできるとあって、大盛況となりました。今年も津和野町で同サミットが開催されるなど、いもたきを通じた地域交流や全国発信が続けられています。

歴史と伝統があり、大洲の味として広く知られるいもたき。この秋は、家族で、気の合う仲間と鍋を囲んでみませんか。

初煮会で聞いた「私のいもたき」



松本 美咲 さん (北只)

親戚で集まった時は、よくいもたきをしています。サトイモはもちろん、だしの染みた油揚げも好きです。



市川 大樹 さん (松山市)

初煮会で初めていもたきを食べました。外で食べるのはまた格別においしいです。次回もぜひ来たいです。



平塚フキ子 さん (野佐来)

初煮会では、いもたきづくりのお手伝いをしました。自宅ではいもたき以外にも、よくサトイモを使った料理をします。

吉川 由美 さん (左)
あいら 愛梨 さん (中央)
れお 玲央 さん (右)
(菅田町菅田)



由美さん 家でのいもたきは、具は同じですが、少し甘い味付けにしています。
愛梨さん・玲央さん やっぴりお母さんのいもたきが一番です。

